



ドイツ証券会社、株式会社日産フィナンシャルサービスの国内公募社債で共同主幹事

【2004年8月2日、東京】 ドイツ証券会社東京支店（所在地：東京都千代田区、支店長：ジョン・T・マクファーレン）は、本日、株式会社日産フィナンシャルサービス（以下、「日産フィナンシャルサービス」とする）による国内公募無担保普通社債発行において、みずほ証券株式会社とともに共同主幹事を務め、同社債を成功裡にローンチした旨を公表しました。なお、日産フィナンシャルサービスは、日産自動車株式会社（以下、「日産自動車」とする）の100%子会社です。

この度、日産フィナンシャルサービスが発行する社債は第3回無担保社債で、発行額は300億円、表面利率0.62%、発行価格は額面100円につき99.97円、償還日は2007年9月20日です。払込期日は2004年8月13日で、利払日は毎年、3月20日および9月20日の2回となっています。なお、この度の社債には日産自動車の保証は付されていませんが、2003年6月24日に締結した日産自動車と発行体によるキープウェル・アグリーメント（契約）に基づき、社債権者には日産自動車による信用補完が付与されています。

本社債は、株式会社格付投資情報センター（R&I）からA-（シングルA マイナス）の格付けを取得しています。

ドイツ証券会社東京支店の中居英治グローバル・マーケッツ本部長は、「今回日産フィナンシャルサービス社が社債を発行されるにあたり主幹事を務めさせて頂いたのは、弊社として日産自動車グループ発行の公募社債の初の主幹事にあたり、大変名誉なことと思います。この度の起債では、ベンチマークとなる国債に対比したスプレッド設定を行うなど、市場実勢に十分配慮した起債運営を行なわせて頂きました。こうした市場重視の姿勢と、日産グループのなかで国内販売金融サービスという重要な業務を展開する発行体の信用力を背景として、幅広い投資家の皆さまから強い需要が得られました」と述べています。さらに、「ドイツ証券会社は、日本の顧客企業が国内のみならずグローバル規模で事業展開するうえで、財務・金融戦略上の良きパートナーとなれるよう提案型サービスの拡充に努めています。今後も、お客さまの資金調達のみならず幅広い財務・金融上のニーズにお応えできるよう、弊社グループのグローバルな力を結集していきたいと思っております」と話しています。

以上

ドイツ銀行グループは、総資産約8,490億ユーロを有し、6万5,700人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界74カ国で幅広い金融サービスを提供しています。特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベート・ウェルス・マネージメントの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。また、ドイツおよび欧州大陸主要国においては、個人および中堅企業向けビジネスの分野で圧倒的な強みを発揮しています。

ドイツ銀行グループは、刻々と変化するグローバル市場を舞台に、お客さまに幅広い金融ソリューションを提供していくことを使命としています。私たちは、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的に応えていくことこそが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては約1,150名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店（日本における代表者兼東京支店長：ジョン・マクファーレン）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：廣瀬 俊博）、ドイチェ信託銀行株式会社（代表取締役社長：関崎司）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

< この件に関するお問い合わせ先 >

広報部 安立 聖子

電話: (03) 5156 - 7705

www.japan.db.com